

嘉興学院概要

嘉興学院は2000年3月に国家教育部より認可され、浙江経済高等専科学校と嘉興高等専科学校が合併して設立された四年制大学であり、「(浙江)省を主とし、省市で共建共管」と言う管理体制を実施している。前身となる浙江経済高等専科学校は1914年に建学、その後100年の間に、所在地を何度か変更し1987年に嘉興市へ移した。管理体制も何度か調整され、相前後して国家重工業部や冶金部、中国有色金属会社に所属し、1998年に浙江省が所轄となった。2000年に大学設立以来、4つの学校（平湖師範学校、嘉興衛生学校、浙江会計学校、嘉興市糧食幹部学校）が同学院に合併された。

同学院は現在、3つのキャンパスを持ち、キャンパスの面積は合計1.2 km²、校舎の面積は合計62万 m²ある。

【学生数】

学部生数：1万5千人余り（独立学院を除く）

社会人コース在籍者：1万人余り

【教職員】

教職員数：1600人余り

専任教員：1100人余り（副教授以上の教員は500人ほど、教授127人、博士号保有者282人、海外よりの帰国人材は約80人）

【教育組織】

11学院（学部）51専攻：

商学院、数理と情報工程学院、文法学院、外国語学院、医学院、機電工程学院、

生物と化学工程学院、材料と紡織工程学院、建築工程学院、設計学院、教師教育学院

他の教育部門：

思想政治理論教学研究部、スポーツと軍訓教学研究部、社会人教育学院、

継続教育学院、国際教育学院

独立学院：

嘉興学院南湖学院

【学術交流】

米、英、独、日、韓、デンマークなど20余り海外の大学と協定を締結し、大学院生の共同養成や、大学院生の推薦入学や、学生の交換など交流事業を行っている。毎年、韓国の関東大学、台湾の静宜大学、国内の複数大学へ交換学生を派遣している。

浙江師範大学、浙江工商大学、江西理工大学、常州大学、泰山医学院など複数国内の大

学と連携して大学院生の教育を行い、毎年大学院生約 80 人が卒業する。

【生物と化学工程学院の概要】

2000 年に初めて学部生を募集した。発酵工程系や、食品工程系や、軽化学工程系の歴史を経て、2003 年に今の名称に改名した。学院の下には、化学と製薬工程系（学科）、環境科学と工程系（学科）を設置している。

教職員数：95 人

教員数：65 人（教授 15 人、副教授 22 人）

学生数：1369 人

化学と製薬工程系（化学工程とプロセス専攻、生物工程専攻、応用化学専攻）

環境科学と工程系

2000 年～2005 年 環境治理工程（短大）

2005 年～ 環境科学と工程系に改称、4 年制大学教育開始